

**第3期仁淀川地域アクションプランの進捗状況等について
平成28年度地域アクションプランの追加・修正項目（案）**

仁淀川地域アクションプランの進捗状況等

H 2 8 . 8 . 3 1

仁淀川地域本部

1 地域アクションプランの上半期の実施状況（総括）

(1) 総評

全 36 のプランについて、実行支援チームを編成、事業推進に向けた協議と進捗管理を実施し、それぞれの地域アクションプランに掲げた本年度到達点の達成を目指して取り組みを進めている。

事業のさらなるステップアップや課題を抱えている案件について、人材育成の講座への誘導、アドバイザーの派遣、各種補助金の活用など、場面に応じた支援事業を導入し、関係機関と連携した具体のサポートを実施している。

特に、平成 26 年 11 月に産振総合補助金を活用してリニューアルオープンした日高村の直販所「村の駅ひだか」については、開店以降集客、売上ともに好調で、集荷体制の整備、商品の品揃えや加工品の開発など、売上目標の達成を目指した取り組みを進めている。

農業分野では、農事組合法人ヒューマンライフ土佐が、こうち農業確立総合支援事業費補助金を活用してショウガ・ダイダイの乾燥・調製等の施設整備を進めており、(株)フードプランにおいては生産能力の拡大を図るため、産振総合補助金を活用した新たな加工施設整備の検討を進めている。

林業分野では、本年 4 月、C L T 用ラミナ製造のための大型製材工場の完成により製品流通拡大に向けた体制が整い、機械調整を行いながら生産を上げている。

水産業分野では、企業組合宇佐もん工房の宇佐の一本釣りうるめいわしのブランド化事業において、今年度、産振総合補助金を活用して、加工施設の整備による衛生管理の高度化、生産性の向上に取り組み、さらなる販路拡大を進める。

また、平成 29 年 3 月から開催される「志国高知 幕末維新博」の取り組みを通じて、将来にわたり全国からの誘客を図りうる観光地づくりを目指し、地域会場となる紙の博物館及び青山文庫（歴史資源）の磨き上げと地域の「食」「自然」などを一体的に周遊できる観光クラスターの整備に向けて、地域が中心となり観光クラスター協議会の設置や整備計画の策定等に向けた協議を進めている。

(2) 具体的な動き

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 2 薬用作物の産地拡大による所得の向上(仁淀川町、佐川町、越知町、日高村)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・農事組合法人ヒューマンライフ土佐</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>薬用作物の作付面積(ヒューマンライフ土佐)</p> <p>ミシマサイコ : 70ha < H27:55ha ></p> <p>サンショウ : 80ha < H27:73ha ></p> <p>ダイダイ : 30ha < H27:28ha ></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>ミシマサイコ : 56ha</p> <p>サンショウ : 70ha</p> <p>ダイダイ : 30ha</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミシマサイコ慣行品種発芽状況の確認(3回) ・ミシマサイコ2年株専用品種調査圃場設置(6/16)、生育調査(9~11月(月1回)) ・ヒューマンライフ土佐総会(6/2) ・こうち農業確立総合支援事業費補助金を活用した施設整備(ショウガ・ダイダイの乾燥・調整設備等)(4/22交付決定)、ダイダイ(枳実)乾燥機の整備完了(7/13納入検査)、ショウガ選別貯蔵施設及び乾燥・調整設備は10月中完成を予定し7月上旬着工 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円滑な施設整備 ⇒越知町役場との連携による支援
<p>■NO.7 生姜の増産と加工品の生産拡大(土佐市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・榎前川博之商店 	<p>[目標(H31)]</p> <p>生姜加工品の販売額:200,000千円<H26:40,946千円></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>生姜加工品の販売額:80,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産農家との打合せ会 ・生協関係者との現地検討会 ・商談会への参加 ・生姜加工の取り組みに関する協議:2回 ・生姜加工品の販売額(H27.10~H28.7月末):34,979千円 (前年同期比95.4%) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工用原料の安定確保 ⇒生姜栽培面積の拡大に向けて生産者との勉強会等を実施 ⇒農業生産法人よさこいファーム(自社)と幡多地域の農業者との連携を検討
<p>■NO.8 いの町での生産等加工品製造施設の整備と販売促進(いの町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西村青果(株) 	<p>[目標(H31)]</p> <p>生姜等加工品の販売額:3.6億円<H26:3.4億円></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>生姜等加工品の販売額:3.45億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内取引農家との打合せ:55回 ・大手食品会社とのにんにく・生姜にかかる取引協議:1回 ・生姜等加工品の販売額(H27.10~H28.7月):約4.32億円 (前年同期比約169%)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・いの町内生姜生産農家からの加工品用生姜仕入高 (H27. 10～H28. 7月) : 約 85. 2 t ・いの町内生姜生産農家栽培面積 : 8. 5ha <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産体制の維持及び販売強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒大手食品会社等の取引先との連携強化 ・原材料となる生姜の安定的な調達 <ul style="list-style-type: none"> ⇒生姜生産農家及び高知県園芸連との信頼関係の構築による取引の継続
<p>■No. 9 本川きじの販路拡大 (いの町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本川手箱きじ生産企業組合 ・いの町 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>販売額 : 13, 580 千円 <H26 : 4, 913 千円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>販売額 : 11, 800 千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内 PR イベントへの参加 : 4 回 ・(株)イーフィールド (名古屋市内で居酒屋・レストラン他経営)、サニーマート、地産外商公社による視察への対応 ・俺のフレンチ青山店との取引開始 ・まるごと高知内レストランとの取引開始 ・4～7 月販売額 : 3, 802 千円 (前年同期比 89. 7%) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営業力の強化による販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> ⇒サンプル送付先への後追い営業などによる新規取引先の確保 ・大口契約先のニーズに対応した生産体制の確保 <ul style="list-style-type: none"> ⇒求められる個体 (1. 2 kg : 雄相当) を生産することで生じる雌等の小さいキジの余剰在庫への対応 (販売先の確保等) ・本川手箱きじ生産企業組合の運営体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒定例会を活用した連携体制の強化 ⇒在庫管理及び原価計算の適正化による経常利益の向上
<p>■No. 12 仁淀川流域における林業・木材産業の振興 (仁淀川地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林組合 ・林業事業者 ・素材生産業者 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>原木生産量 : 12. 0 万 m³ <H26:8. 0 万 m³></p> <p>製材工場原木利用量 : 5. 0 万 m³ <H26:1. 7 万 m³></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>原木生産量 : 9. 0 万 m³</p> <p>製材工場原木利用量 : 2. 3 万 m³</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・製材業者 ・自伐林家等 	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村・事業者等林業関係担当者会の開催(1回) ・増産に向けた事業者への聞き取り調査(2森林組合) ・森林経営計画・森の工場作成支援(1町、11事業者) ・大型製材工場の進捗管理及び指導(4回) ・管内森林組合の事業進捗管理及び経営指導(高知中央森組3回、仁淀川森組3回) ・仁淀川町森林管理推進協議会(1回) ・佐川町森林ICTプラットフォーム構築意見交換会(2回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・増産に向けたさらなる施業地の確保 ⇒市町村との連携による森林情報の収集・提供 ・森林組合の経営改善 ⇒関係各課と林業事務所で構成される支援チームによる経営及び技術指導の実施 ・木材の需給調整を担う組織(仮称:森林管理センター)の構築と人材の確保 ⇒仁淀川町森林管理推進協議会と組織体制及び人材育成の検討
<p>■No. 13 地域性の高い特用林産物の生産拡大(仁淀川地域全域)</p> <p>《事業主体》 特用林産物生産団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原木まいたけ;いの町越裏門・寺川地区 ・マッシュルーム;によどマッシュルーム生産組合 ・シキミ・サカキ;越知町及び同町野老山地区 	<p>[目標(H31)]</p> <p>シキミ・サカキ生産量:17t<H27:0.0t> マッシュルーム出荷量:22t<H26:14.3t> 原木まいたけ生産量:0.6t<H27:0.1t></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>シキミ・サカキ生産量:1t マッシュルーム出荷量:14t 原木まいたけ生産量:0.26t</p> <p>[取組状況]</p> <p><シキミ・サカキ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者への指導(3回) ・生産体制構築協議(越知町2回) ・中央西地区シキミ・サカキ部会(1回) <p><マッシュルーム></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者への指導(3回) ・試験研究機関との協議及び共同研究(3回) ・栽培手法の改善及び病虫害防除指導 <p><原木まいたけ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者への指導(2回) ・試験研究機関との協議及び共同研究(3回) ・流通販売支援協議(越裏門寺川まち支部2回)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベントの開催及び普及啓発(氷室まつり) ・ 原木まいたけ完熟ほだ木の販売開始(8/10~17、100個限定) ・ 原木まいたけ栽培に向けて地域体制、施設整備が着実に進行 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生産拡大 ⇒ シキミ・サカキ: 生産体制の構築及び圃場整備計画の検討 ⇒ マッシュルーム: 生産施設拡充のための適切な補助事業の検討
<p>■ No. 14 自伐型林業を核とした産業づくりと地域の活性化(佐川町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 佐川町 ・ 自伐型林業に取り組む個人・団体 	<p>[目標(H31)]</p> <p>林業関連新規就業者数: 24人(H28~31累計) <H27:5人></p> <p>山林の集約化面積: 400ha(H28~31累計) <H27:0ha></p> <p>ものづくりと連携した起業者: 3人(H28~31累計) <H27:0人></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>林業関連新規就業者数: 6人 山林の集約化面積: 100ha ものづくりと連携した起業者: -</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町民向けの自伐型林業研修開催(2回、参加者延べ18人) ・ 地域おこし協力隊採用 9人(自伐5人、ラボ4人) ・ 佐川町森林ICTプラットフォーム構築意見交換会(2回) ・ さかわ発明ラボを開所し(4/1)、オープンラボ(4回)、ワークショップ(2回)、学校教育との連携(3回)を進めている。 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山林の集約化 ⇒ 所有者との交渉及び実施条件(所有者への還元率等)の検討・整理 ・ 自伐型林業のビジネスモデルづくり ⇒ 地域おこし協力隊の育成、(株)さかわの会社設立準備
<p>■ No. 15 宇佐の一本釣りうるめいわしのブランド化(土佐市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業組合宇佐もん工房 	<p>[目標(H31)]</p> <p>うるめ商品の販売額: 100,000千円 <H26: 61,550千円></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>うるめ商品の販売額: 96,000千円</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> 一本釣りうるめ祭りの開催(5/15～5/31): 参加店舗数 18 店舗 売上向上に向けた協議: 8 回 商談会、イベントへの出展: 2 回 <ul style="list-style-type: none"> 商談件数: 20 件 新規取引先数: 3 件 ベンチャー企業育成支援事業の活用(ビジネスプランの作成) 4～7 月末うるめ商品の販売額: 27,761 千円 (前年同期比 94.6%) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> 原材料の安定確保 ⇒冷凍庫及び冷凍室の増設(H28 産振総合補助金を活用予定) ⇒漁協や漁師との連携による原材料の調達力強化 加工場の衛生管理の向上及び加工作業の効率化 ⇒厳しい衛生基準を求める企業との取引が増加傾向にあるため、県版 HACCP 取得に向けた加工場のレイアウト変更及び加工過程の衛生管理の徹底(H28 産振総合補助金を活用予定) ⇒手作業によるうるめのフィレ化工程の機械化 「宇佐の一本釣りうるめ」の認知度向上に向けた継続的・効果的な販売促進活動の実施 ⇒イメージキャラクター「うるえもん」を活用した「うるめマップ(土佐市内のうるめ料理提供飲食店 11 店舗の紹介)」でのシールラリーの実施(有効期限 H29.12 月末)
<p>■No. 17 「土佐和紙」の販売促進と保存・継承 (土佐市、いの町、仁淀川町、日高村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> 手すき和紙協同組合 高知県製紙工業会 いの町紙の博物館 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>土佐和紙の販売額: 4.8 億円(機械すき 4.4 億円、手すき 0.4 億円) <H26: 4.8 億円(機械すき 4.4 億円、手すき 0.4 億円) ></p> <p>手すき和紙協同組合加入の事業体: 31 事業体 <H27: 31 事業体 ></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>土佐和紙の販売額: 4.8 億円 (機械すき 4.4 億円、手すき 0.4 億円)</p> <p>手すき和紙協同組合加入の事業体: 31 事業体</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> Kami 祭実行委員会(いの通信局チーム会)の開催: 1 回

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・土佐和紙関係者意見交換会の開催(いの町産経課、紙の博物館、手すき和紙協同組合、高知県製紙工業会、高知県工業振興課、地域本部)：1回 ・産業振興アドバイザー制度の活用(紙博売店の魅力ある店づくり)：3回 ・紙の博物館内における体験メニューの提供(5/3～5/5) 利用者数：ちぎり絵約100人、マーブリング34組、和紙缶バッチ約50人、リングノート30人、折り紙 ・土佐和紙に関するお問い合わせ受付窓口(紙の博物館内)の対応：6件 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・志国高知幕末維新博の地域会場である紙の博物館への集客と土佐和紙商品の販路拡大 ⇒紙の博物館売店の魅力ある店舗づくり(店舗レイアウトの変更、商品構成の見直し、職人・生産者の顔の見える売り方)
<p>■No. 20 地域産品を活用した冷菓等の製造販売(いの町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(有)高知アイス 	<p>[目標(H31)]</p> <p>冷菓等の販売額：4.5億円<H26：3.75億円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>冷菓等の販売額：4億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外、海外(台湾、ハワイ、タイ)での商談会、プロモーション活動(4～6月)：5回 ・ハワイ商談件数30件、受注数30件 ・経営革新計画(経営革新支援事業)認定に向け準備中 ・大阪への営業拠点事務所設置(7月中旬)(2名雇用) ・全体の販売額(H28.1～7月)：2.35億円(前年同期比116%) (内訳) 海外での卸販売額：0.29億円(前年同期比285%) 海外での催事販売額：0.07億円(前年同期比103%) 国内販売額：1.85億円(前年同期比112%) 売店販売額：0.13億円(前年同期比107%) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外での販路拡大 ⇒大阪事務所を営業拠点として(大阪で2名雇用)、関西圏及び名古屋の販路開拓 ⇒売店隣地の倉庫を活用して菓子工房及び冷凍保管設備の整備、客席・トイレ増設の検討(H28産振総合補助金を活用予定) ⇒TV、新聞等での広報・宣伝活動

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 21 (株)フードプランのカット野菜事業等の展開による雇用の確保と販売拡大(仁淀川町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)フードプラン ・仁淀川町 ・庭先集荷の農家 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>販売額：7.6億円<H26:4.7億円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>販売額：6.0億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新工場整備計画等に基づく関係者協議の定期開催 (9回：クラスター化を見据えた農業生産の検討、設備投資にかかる財源確保、資金計画の精査等) ・販売額(H27.10～H28.6月末)：4.1億円(前年同期比123%) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売先の需要に対応できる製造施設の整備 ⇒本年度末の産振総合補助金審査会に向けた手続 ・仁淀川町を中心とした県産野菜の取引拡大 ⇒耕作放棄地の活用等を関係者で検討
<p>■No. 22 地域資源を活用した売れる商品づくりと地産外商の推進(佐川町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐川町 ・JAコスモス ・地元農家 ・地元酪農家 ・佐川町商工会 ・地元商工業者 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>牛乳類商品販売額：1.3億円<H27:0.86億円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>牛乳類商品販売額：0.92億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業振興アドバイザー制度を活用して「第2回地乳まつり」の企画等(地域にお金が落ちるイベント展開・取り組み・拠点について)を検討(2回) ・地乳みるく坦々うどんの提供開始：4店舗 ・牛乳類商品販売額：1.3億円(H27.8～28.7月末見込) (前年同期比102.3%) ・乳業者の事業計画にかかる協議(1回) ・乳業者がHACCP研修(1回)、土佐MBA「経営戦略入門」(1回)に参加 ・乳業者が旭食品(株)2016四国・中国・九州地区秋冬新商品発表会に出展 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地乳のブランド力向上 ⇒地乳プロジェクト推進会議の組織体制および事業内容の再検討 ・乳業者の加工処理能力向上 ⇒産振総合補助金活用に向けた検討

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 23 柑橘類等地域の農産物を活用した加工品の生産と販売拡大(越知町)</p> <p>《事業主体》 ・(株)岡林農園</p>	<p>[目標(H31)] 岡林農園の販売額:1.8億円<H26:1.4億円></p> <p>[H28到達目標] 岡林農園の販売額:1.75億円</p> <p>[取組状況] ・岡林農園の販売額:1.84億円(H27.9~H28.7月) (前年同期比139.7%)</p> <p>[課題と今後の対応] ・経営改善 ⇒決算(H28.8月期)を待って、事業者の合意形成を図りながら取り組み方針を検討</p>
<p>■No. 24 ネコ砂(木質系排泄物処理剤)の生産・販売促進(日高村)</p> <p>《事業主体》 ・(株)エスエス</p>	<p>[目標(H31)] ネコ砂(木質系排泄物処理剤)の販売額:90,000千円<H26:46,760千円></p> <p>[H28到達目標] ネコ砂(木質系排泄物処理剤)の販売額:70,000千円</p> <p>[取組状況] ・日産350~400ケースで月産(25日稼働)10,000ケースを目指した生産体制の整備 (パート雇用:2名増、オガ粉(原材料)の仕入先:1件増) ・4~5月生産量:日産470~500ケース 月産11,500~12,000ケース</p> <p>・(株)コスモ工房の竹製品製造過程で発生する竹くずの使用について分析、試作を行った結果、一部の商品の原料に混ぜて活用することが決定(H28.9月~)</p> <p>・販売額(H27.9~H28.6月):54,878千円(前年同期比142.7%)</p> <p>[課題と今後の対応] ・ネコ砂の安定的な生産体制の構築 ⇒OEM先のアース・バイオケミカル(株)との連携強化 ・OEM先の新商品の開発 ⇒竹くず単体での商品開発も視野に入れ原料調達に向けて(株)コスモ工房との連携体制を構築</p>
<p>■No. 25 「村の駅ひだか」を拠点とした交流人口の拡大と地域の活性化(日高村)</p> <p>《事業主体》 ・日高村 ・(株)村の駅ひだか</p>	<p>[目標(H31)] 直販市の販売額:200,000千円<H26:104,382千円> フットパス等体験観光客数:400人<H26:241人></p> <p>[H28到達目標] 直販市の販売額:200,000千円 フットパス等体験観光客数:280人</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村の駅ひだか運営等検討会(商品・月別売上分析や取組内容の検討等)の開催:4回 ・市内プロジェクト会議(進捗確認や課題整理及びスケジュール確認等)の開催:1回 ・H26.11月オープン以来の来客者数(レジ通過)30万人達成(5/17) ・4~6月来客者数(レジ通過):55,922人(前年同期比104%) ・4~6月直販市の販売額:61,499千円(前年同期比111%) ・4~6月フットパス等体験観光客数:26人 (前年同期比90%) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直販市の機能強化及び観光情報の発信 ⇒商品の集荷体制の確立 ⇒店舗の狭隘への対応 ⇒特産品生産者(生活改善グループ)の高齢化に伴う後継者づくり ⇒村内の観光資源の整備(案内看板、調整池遊歩道整備に関する許可、観光PR用のDVD、HP作成委託の検討)
<p>■No.26「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進(仁淀川地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一社)仁淀ブルー観光協議会 ・土佐市 ・いの町 ・仁淀川町 ・佐川町 ・越知町 ・日高村 ・いの町観光協会 ・仁淀川町観光協会 ・(一社)さかわ観光協会 ・越知町観光協会 	<p>[目標(H31)]</p> <p>仁淀ブルー観光協議会関連のツアー客数:5,500人 <H26:4,153人></p> <p>主要宿泊施設の宿泊者数:72,000人<H26:65,410人></p> <p>主要観光施設の入込客数:276,000人<H26:216,458人></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>仁淀ブルー観光協議会関連のツアー客数:4,500人</p> <p>主要宿泊施設の宿泊者数:61,000人</p> <p>主要観光施設の入込客数:270,000人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、フェイスブックによる情報発信 ・セールス件数:34件(東京、大阪、名古屋、岡山、香川、愛媛エージェント、JR四国DCキャンペーン、高知県観光説明会)→新たなエージェント開拓件数:4件 ・物産観光PR:1回 ・仁淀ブルー通信編集会議:3回、メールマガジン配信数:17本 ・一般社団法人仁淀ブルー観光協議会通常総会、理事会、観光担当者会の開催 ・仁淀ブルーブランド化事業ワークショップ:3回

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・4～7月ツアー送客数：1,439人（前年同期比114%） ・4～6月主要宿泊施設の宿泊者数：16,159人 （前年同期比104%） ・4～6月主要観光施設の入込客数：57,464人 （前年同期比115%） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会関係者（事務局、市町村、観光協会、県（地域本部・地域観光課））のパートナーシップの強化 ⇒理事会や観光担当者会にて関係者による中長期計画の方向性の確認や実践に向けた協議を実施 ・仁淀ブルーをテーマにしたブランド化戦略の策定及び日本版DMOの構築に向けた関係者の合意形成 ⇒仁淀ブルーブランド化戦略の策定に向けた、域内の観光客の動態把握（アンケート調査）及び、関係者によるワークショップの開催 ・観光施設、宿泊施設、食事施設、レジャー施設等の事業者や商工会、J A、森林組合、漁協などの仁淀川地域観光に携わる関係者が協議会のパートナーとして連携するという意識の醸成及び自主財源の確保 ⇒仁淀川地域観光に携わる人材の育成 ⇒市町村、観光協会と連携して仁淀川地域の観光施設、宿泊施設、食事施設等の事業者を訪問し、協議会活動への賛同者の獲得及び賛助会費の確保 ⇒仁淀川地域のお土産品や特産品の開発・販売
<p>■No. 27 観光交流施設の整備・運営による新居地区の活性化（土佐市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐市 ・特定非営利活動法人新居を元気にする会など 	<p>[目標（H31）]</p> <p>—</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新居地区観光交流施設「南風（まぜ）」落成式（4/24）、オープン（4/27） ・運営検討会：7回 ・直販所来客者数（7月末）：11,568人 ・直販所売上高（7月末）：8,829千円 ・飲食店来客者数（7月末）：6,959人 ・飲食店売上高（7月末）：7,017千円

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客等の交流人口を増加させるための仕組みづくり ⇒観光案内、情報発信の強化 ⇒県道(土佐市、高知市)へ「南風(まぜ)」案内標識を設置予定(中央西土木事務所対応) ⇒(一社)仁淀ブルー観光協議会と連携したツアー客の受入や観光商品づくり ・観光交流施設「南風(まぜ)」の安定的な運営 ⇒直販所の商品確保に向けた生産者への周知、集荷体制の整備 ⇒飲食店の太平洋を臨むロケーションを活かした集客戦略の実践及び雇用の確保
<p>■No. 32 歴史と文教を活かしたまちづくりによる観光の推進(佐川町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐川町 ・さかわ観光協会 ・佐川町内の地域づくり団体 	<p>[目標(H31)]</p> <p>上町地区への入込客数:20,000人<H26:15,000人> 上町まち歩きガイド利用者数:5,000人<H26:4,585人></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>上町地区への入込客数:21,250人 上町まち歩きガイド利用者数:3,800人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐の観光創生塾への参加:3回(2人) ・四国DCイベント参加によるPR活動:1回 ・旧竹村呉服店改修及び出店者(使用者)の公募開始(公募期間:7/22~8/22) ・青山文庫磨き上げ(リアル化)のため工期をH28.11~29.2月(予定)として改修工事が決定。高知県歴史観光資源等強化事業費補助金(7/25交付決定)を活用し、改修工事の実施設計業務に着手した。 ・さかわ観光クラスター協議会を開催し、青山文庫リアル化事業の共有や、周遊コースの設定及び仕掛け等について協議(2回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらなる誘客に向けたおもてなしの体制づくり ⇒地域の頑張る人づくり事業の活用により観光に携わる人材の育成 ⇒歴史観光資源等強化事業費補助金の活用による青山文庫をはじめとした歴史資源の磨き上げ及びクラスターづくりの推進

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 34 体験型観光の拠点となるキャンプ場の整備による交流人口の拡大と地域の活性化(越知町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・越知町</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>—</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <p>＜スノーピークを核としたアウトドア施設の整備＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本設計の作成に向けた協議 (4/20,6/7) (日の瀬および宮の前公園にセンターハウス、キャンプサイト、宿泊棟、カヌー・ラフト艇庫等の整備) ・キャンプ場の整備に向けた土木事務所との協議 ・スノーピークキャンプフィールド奥日田視察及び山井社長との事業計画協議 (7/22,23) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H30.4月オープンに向けた事業進捗 ⇒用地取得に向けた所有者との交渉 ⇒町民等に事業の周知を図ることを目的に宮ノ前公園でアウトドアイベントを開催 (11/5,6 予定)
<p>■No. 35 「屋形船仁淀川」を核とした交流人口の拡大と地域の活性化(日高村)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・日高村</p> <p>・(株)屋形船仁淀川</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>乗船者数：4,500人<H26：3,261人></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>乗船者数：4,100人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁内プロジェクト会議による進捗確認や課題整理及びスケジュール確認等 (6/27) ・産業振興アドバイザーを活用した屋形船ガイド養成研修の開催：3回、ガイド候補者参加数16人 ・4～6月ガイド実践延べ人数：26人 ・4～6月屋形船の乗船者数：1,258人(前年同期比144%) (うちガイド付き乗船者数：172人) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客の受入体制の充実 ⇒遊覧ガイドの養成・増員 ⇒(一社)仁淀ブルー観光協議会との連携強化 ⇒食事処や売店など観光拠点としての整備を検討 ⇒雨天時や冬期の体験メニューの企画・試行

2 平成28年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
該当なし		

3 地域アクションプランの追加、修正、削除（予定）項目

[追加] ■仁淀川町における茶を中心とした農産物の6次産業化推進（仁淀川町）

（概要）仁淀川町における基幹農業の生産維持と所得向上を図るため、基幹品目のひとつである茶を中心に、高付加価値商品の開発や販路拡大を推進する。これにより地域事業者の6次産業化を進め、市場の価格変動に左右されにくい農業経営の仕組みを構築する。あわせて、町内外から広く担い手を確保することにより、長期的に持続可能な経営体制を町内に展開する。

[修正] ■「NO.22 地域資源を活用した売れる商品づくりと地産外商の推進（佐川町）」の事業主体を明確化するとともに、主な内容に「牛乳加工施設の整備及び販路拡大」を追加する。

（理由）さかわの地乳を加工製造する(有)吉本乳業において、県外量販店への外商等販路拡大を推進するため、県版 HACCP の取得及び牛乳充填設備の機能強化等、現工場の加工処理能力の向上を図ることとしたため。

[修正] ■「NO.27 観光交流施設の整備・運営による新居地区の活性化（土佐市）」の指標及び目標を設定する。

（理由）平成28年4月に新居地区観光交流施設「南風（まぜ）」の直販所及び飲食店の運営がスタートしたことに伴い、事業主体において、指標及び目標を設定したため。

4 県民参画に向けた取組

- ・日高村商工会総会で第3期計画の説明(5/19)
- ・越知町商工会総会で第3期計画の説明(5/20)
- ・土佐市商工会総会で第3期計画の説明(5/23)
- ・いの町観光協会総会で第3期計画の説明(5/24)
- ・いの町商工会総会で第3期計画の説明(5/26)
- ・高知県版 HACCP 研修受講の働きかけ（企業組合宇佐もん工房、(有)高知アイス、本川手箱きじ生産企業組合、利休、(有)吉本乳業）
- ・四国銀行（7/4）各支店長等と地域本部との情報共有会議での第3期計画の説明

5 相談案件：4件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	5/25	農業	自然薯の生産・販売促進
2	5/30	観光	仁淀ブルーのPR・情報発信
3	7/5	観光	幕末維新博での地域の歴史史料展示
4	7/22	商工	紙製品の店舗の建設、販売促進（地域AP外）

有望素材シート（28年度）（案）

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

市町村名	仁淀川町	素材名	茶
		関連素材	町内の特産物
現状・課題	<p><現状> 県内の土佐茶のうち40%近くを生産する仁淀川町は、古来から良質な茶の栽培地である。生産された茶葉は長らく、半製品である荒茶として県外に出荷されてきた。個性のある風味によって高級茶のブレンド用として活用され、茶農家の生計を支えてきたが、荒茶価格低迷や生産者の高齢化によって、将来的に茶産地の維持が困難な状況となりつつある。仁淀川町においても現在、茶農家の所得維持・向上を図るため、荒茶価格に左右されない仕上げ茶（製品茶）の販路拡大を進めている。さらに、町の基幹品目である茶の生産体制をより強固なものにするため、町役場において茶を中心とした農産物の「付加価値」「6次産業化」「担い手確保」を軸とした振興計画を策定したところである。</p> <p><課題> ○市場ニーズに合った農産物の付加価値化が浸透していない。 ○町内における生産・流通・販売体制の整備が進んでいない。 ○産業を持続させるための後継者および担い手が不足している。</p>		
今後の方向性	<p>○茶等を原料とした加工品の開発・販売推進 ○6次化製品の販売促進および町内販売拠点の整備 ○町の移住施策と連携した後継者および担い手確保</p>		

「有望素材」を活かした具体的な取り組み（案）

『地域アクションプラン』における具体的な取り組み案

項目	取り組み名	仁淀川町における茶を中心とした農産物の6次産業化推進																																								
	関係市町村名	仁淀川町																																								
事業の概要	<p>仁淀川町の基幹品目である茶をはじめとした農業者の経営持続を図るため、農産物の高付加価値化を進め、6次産業化の推進を図る。</p> <p>○行政と生産者が一体となり、地域の特色を活かした「農業のまちづくり」を進めることで、1次産業における所得維持・向上を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町と事業者が連携し、基幹品目である茶等を原料とした加工品の開発を進める。 ・事業者の地商・外商を支援するとともに、町内における6次化製品の販売拠点整備について検討する。 ・町の移住施策と連携して担い手確保を進めるとともに、受入先における研修等フォローアップの支援も行う。 																																									
事業主体等	【事業主体】	仁淀川町、㈱ビバ沢渡、町内の6次産業化に取り組む事業者																																								
	【関係機関】	高知県、仁淀川町商工会、仁淀川町観光協会、J A コスモス、沢渡茶生産組合																																								
主な内容・スケジュール	取組手順	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業実施【H28】</th> <th>1年後【H29】</th> <th>2年後【H30】</th> <th>3年後【H31以降】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">茶等を原料とした加工品の開発による6次産業化の推進</td> </tr> <tr> <td colspan="4">基幹品目である茶等を原料とした加工品の6次産業化の推進</td> </tr> <tr> <td colspan="4">商品開発、販売促進などによる経営の持続化</td> </tr> <tr> <td colspan="4">商品開発、販売などによる経営の持続化を支援し、仁淀川町産農産物のブランド化を推進</td> </tr> <tr> <td colspan="4">後継者及び担い手の確保・育成</td> </tr> <tr> <td colspan="4">移住施策と連携した担い手の確保、受入先における研修等フォローアップの支援</td> </tr> <tr> <td colspan="4">㈱ビバ沢渡及び6次産業化に取り組む事業者による拠点施設整備</td> </tr> <tr> <td colspan="4">6次産業化に取り組む事業者による拠点整備の検討</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> ㈱ビバ沢渡施設整備に係る事業計画策定 → ㈱ビバ沢渡施設整備 → ㈱ビバ沢渡施設オープン </td> </tr> </tbody> </table>	事業実施【H28】	1年後【H29】	2年後【H30】	3年後【H31以降】	茶等を原料とした加工品の開発による6次産業化の推進				基幹品目である茶等を原料とした加工品の6次産業化の推進				商品開発、販売促進などによる経営の持続化				商品開発、販売などによる経営の持続化を支援し、仁淀川町産農産物のブランド化を推進				後継者及び担い手の確保・育成				移住施策と連携した担い手の確保、受入先における研修等フォローアップの支援				㈱ビバ沢渡及び6次産業化に取り組む事業者による拠点施設整備				6次産業化に取り組む事業者による拠点整備の検討				㈱ビバ沢渡施設整備に係る事業計画策定 → ㈱ビバ沢渡施設整備 → ㈱ビバ沢渡施設オープン			
	事業実施【H28】	1年後【H29】	2年後【H30】	3年後【H31以降】																																						
	茶等を原料とした加工品の開発による6次産業化の推進																																									
	基幹品目である茶等を原料とした加工品の6次産業化の推進																																									
商品開発、販売促進などによる経営の持続化																																										
商品開発、販売などによる経営の持続化を支援し、仁淀川町産農産物のブランド化を推進																																										
後継者及び担い手の確保・育成																																										
移住施策と連携した担い手の確保、受入先における研修等フォローアップの支援																																										
㈱ビバ沢渡及び6次産業化に取り組む事業者による拠点施設整備																																										
6次産業化に取り組む事業者による拠点整備の検討																																										
㈱ビバ沢渡施設整備に係る事業計画策定 → ㈱ビバ沢渡施設整備 → ㈱ビバ沢渡施設オープン																																										
指標・目標	項目	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業実施【H28】</th> <th>1年後【H29】</th> <th>2年後【H30】</th> <th>3年後【H31以降】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要事業者の販売額</td> <td>50,000,000円</td> <td>55,000,000円</td> <td>60,500,000円</td> <td>80,000,000円</td> </tr> <tr> <td>うち㈱ビバ沢渡の販売額</td> <td>20,000,000円</td> <td>22,000,000円</td> <td>24,200,000円</td> <td>41,840,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>【設定根拠】 主要事業者の販売額：㈱ビバ沢渡等、町内事業者の現在の販売額の合計</p> <p>【推計の考え方】 毎年10%の販売増と、㈱ビバ沢渡の拠点整備による販売の増を見込んだもの。</p> <p>【考え方】</p>	事業実施【H28】	1年後【H29】	2年後【H30】	3年後【H31以降】	主要事業者の販売額	50,000,000円	55,000,000円	60,500,000円	80,000,000円	うち㈱ビバ沢渡の販売額	20,000,000円	22,000,000円	24,200,000円	41,840,000円																										
事業実施【H28】	1年後【H29】	2年後【H30】	3年後【H31以降】																																							
主要事業者の販売額	50,000,000円	55,000,000円	60,500,000円	80,000,000円																																						
うち㈱ビバ沢渡の販売額	20,000,000円	22,000,000円	24,200,000円	41,840,000円																																						
総事業費等	総事業費	35,000千円（うち28年度 円）																																								
	（内訳 国： 県： 市町村： その他：）	国： 県：高知県産業振興推進総合支援事業 人的支援： その他：仁淀川町産業振興推進総合支援事業（案）																																								
備考																																										

追加項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
37 仁淀川町における茶を中心とした農産物の6次産業化推進 《仁淀川町》	仁淀川町の基幹品目である茶をはじめとした農産者の経営持続を図るため、農産物の高付加価値化を進め、6次産業化の推進を図る。	・仁淀川町 ・鍋ピバ沢渡 ・町内の6次産業化に取り組む事業者	アクションプランの取組開始:H28	・市場ニーズに合った農産物の付加価値化が浸透していない。 ・町内における生産・流通・販売体制の整備が進んでいない。 ・産業を持続させるための後継者及び担い手の不足	◆茶等を原料とした加工品の開発による6次産業化の推進 ◆商品開発、販売促進などによる経営の持続化 ◆後継者及び担い手の確保・育成 ◆鍋ピバ沢渡及び6次産業化に取り組む事業者による拠点整備

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
茶等を原料とした加工品の開発による6次産業化の推進					→	主要事業者の販売額 (H27:50,000千円)	80,000千円
基幹品目である茶等を原料とした加工品の6次産業化の推進						うち、鯛ビバ沢渡の販売額 (H27:20,000千円)	41,840千円
商品開発、販売促進などによる経営の持続化					→		
商品開発、販売などによる経営の持続化を支援し、仁淀川町産農産物のブランド化を推進							
後継者及び担い手の確保・育成					→		
移住施策と連携した担い手の確保、受入先における研修等フォローアップの支援							
鯛ビバ沢渡及び6次産業化に取り組む事業者による拠点施設整備					→		
6次産業化に取り組む事業者による拠点整備の検討							
鯛ビバ沢渡施設整備にかか る事業計画策定	鯛ビバ沢渡施設整備	鯛ビバ沢渡施設 オープン					

修正項目(案)



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
22 地域資源を活用した売れる商品づくりと地産外商の推進 《佐川町》 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正前</div>	地元の事業者が一次産品等を使った特長のある商品づくりを行うとともに、販売促進のための仕組みを構築することで地産外商を推進し、外貨の獲得を目指す。	・佐川町 ・JAコスモス ・地元農家 ・地元酪農家 ・佐川町商工会 ・地元商工業者	アクションプランの取組開始:H21 ・酪農家を含めた農商工連携組織「さかわの地乳プロジェクト推進会議」を設置し、産業振興総合補助金を活用して広報・販促資材を整備(H22、23) ・地乳を使った加工品の開発等を進め、「さかわの地乳」のブランド化や商品づくり、そのPR・販売促進の取組を実施(H21~27) ・地乳商品認定要綱を策定し、4事業者の25品目の商品を「ちちちブランド」に認定(H26) ◆地乳を使ったプリンやアイスクリーム、パン等の新商品を開発し、町内外の直販所等で販売されている。牛乳についても県内外の量販店との取引が広がっている。 ・地元農家で結成された「黒岩じるし」や尾川地区で紅茶生産を行う「明郷園」が、農業創造セミナーや産振アドバイザー事業を活用するなど、積極的に新商品の開発や商品の磨き上げを実施(H25~27) ◆H27から県内老舗旅館で紅茶の取り扱いが開始した。	・地乳ブランドを向上させるためには、酪農家の顔が見える商品づくりを進め、佐川ならではの地乳ネームバリューを上げていく必要がある。	◆地元農産物等を使った加工品の開発及び販売促進の体制づくり ◆売れる仕組みづくり






【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
22 地域資源を活用した売れる商品づくりと地産外商の推進 《佐川町》 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正後</div>	地元の事業者が一次産品等を使った特長のある商品づくりを行うとともに、販売促進のための仕組みを構築することで地産外商を推進し、外貨の獲得を目指す。	・佐川町 ・JAコスモス ・地元農家 ・地元酪農家 ・佐川町商工会 ・地元商工業者 ・南吉本乳業	アクションプランの取組開始:H21 ・酪農家を含めた農商工連携組織「さかわの地乳プロジェクト推進会議」を設置し、産業振興総合補助金を活用して広報・販促資材を整備(H22、23) ・地乳を使った加工品の開発等を進め、「さかわの地乳」のブランド化や商品づくり、そのPR・販売促進の取組を実施(H21~27) ・地乳商品認定要綱を策定し、4事業者の25品目の商品を「ちちちブランド」に認定(H26) ◆地乳を使ったプリンやアイスクリーム、パン等の新商品を開発し、町内外の直販所等で販売されている。牛乳についても県内外の量販店との取引が広がっている。 ・地元農家で結成された「黒岩じるし」や尾川地区で紅茶生産を行う「明郷園」が、農業創造セミナーや産振アドバイザー事業を活用するなど、積極的に新商品の開発や商品の磨き上げを実施(H25~27) ◆H27から県内老舗旅館で紅茶の取り扱いが開始した。	・地乳ブランドを向上させるためには、酪農家の顔が見える商品づくりを進め、佐川ならではの地乳ネームバリューを上げていく必要がある。 ・牛乳の販路拡大	◆地元農産物等を使った加工品の開発及び販売促進の体制づくり ◆売れる仕組みづくり ◆牛乳加工施設の整備及び販路拡大

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
					牛乳類商品販売額 (H27:0.86億円)	1.3億円	
地元農産物等を使った加工品の開発及び販売促進の体制づくり 加工品の開発・販売促進体制づくり・宣伝方法の検討等							
							
売れる仕組みづくり 施設整備の検討など							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
					牛乳類商品販売額 (H27:0.86億円)	1.3億円	
地元農産物等を使った加工品の開発及び販売促進の体制づくり 加工品の開発・販売促進体制づくり・宣伝方法の検討等							
							
売れる仕組みづくり 施設整備の検討など							
							
牛乳加工施設の整備及び販路拡大 南吉本乳業加工施設の整備 県版HACCPの取得などにより、県外量販店への外販等販路拡大							

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
27 観光交流施設の整備・運営による新居地区の活性化 《土佐市》	土佐市の新たな地域振興や情報発信の拠点として「観光交流施設を整備し、新居地区における交流人口の拡大と地域の活性化を目指す。	・土佐市 ・特定非営利活動法人新居を元気にする会など	アクションプランの取組開始:H24 ・新居地区への新たな観光交流施設の整備の検討(H24~25) ・観光交流施設の整備(H27) ・観光交流施設の安定的な運営に向けた協議(H26~27) ◆施設運営組織の体制づくりや施設の活用策等について、特定非営利活動法人新居を元気にする会が施設全体の指定管理及び1階部分の直販所の運営を行い、2階部分には住民組織で構成する企業組合(H28.1月発足)がカフェの運営をすることが決定した。	・観光交流施設の安定的な運営	◆観光客等の交流人口を増加させるための仕組みづくり
修正前					



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
27 観光交流施設の整備・運営による新居地区の活性化 《土佐市》	土佐市の新たな地域振興や情報発信の拠点として「観光交流施設を整備し、新居地区における交流人口の拡大と地域の活性化を目指す。	・土佐市 ・特定非営利活動法人新居を元気にする会など	アクションプランの取組開始:H24 ・新居地区への新たな観光交流施設の整備の検討(H24~25) ・観光交流施設の整備(H27) ・観光交流施設の安定的な運営に向けた協議(H26~27) ・施設運営組織の体制づくりや施設の活用策等について検討(H27) ・特定非営利活動法人新居を元気にする会が観光交流施設(南風(まぜ))全体の指定管理及び1階部分の直販所を運営(H28.4.27オープン) ・2階部分は住民組織で構成する企業組合アルバートーザ(H28.1月発足)がカフェ(Café Nill mare(カフィニールマーレ))を運営(H28.4.27オープン)	・観光交流施設の安定的な運営	◆観光客等の交流人口を増加させるための仕組みづくり
修正後					

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
観光客等の交流人口を増加させるための仕組みづくり					→		
直販所及びカフェの整備・オープン							
関係者での経営会議による直販所及びカフェを含めた観光交流施設の安定した運営							
他の観光施設と連携した観光メニューづくりや観光案内、情報発信など							
一般社団法人仁淀ブルー観光協議会と連携したツアー客の受け入れや観光商品づくり							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
観光客等の交流人口を増加させるための仕組みづくり					→	施設来客者数 (H27:0人)	12万人
直販所及びカフェの整備・オープン							
関係者での経営会議による直販所及びカフェを含めた観光交流施設の安定した運営							
他の観光施設と連携した観光メニューづくりや観光案内、情報発信など							
一般社団法人仁淀ブルー観光協議会と連携したツアー客の受け入れや観光商品づくり							